

# 2023年3月期 第3四半期 決算説明資料

- 1) 決算概要
- 2) 決算のポイント
- 3) 国内売上高
- 4) 海外売上高
- 5) 商品群別売上高  
[参考]内訳
- 6) トピックス
- 7) 減価償却費と研究開発費
- 8) 通期業績見通し  
[参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響  
[参考] COVID-19関連需要(概算)

# 1) 決算概要

	2022/3 第3四半期 累計	2023/3 第3四半期 累計	増減率 (%)	(単位:百万円、単位未満切捨て)
売上高	148,078	144,557	△ 2.4	
国内売上高	96,597	93,569	△ 3.1	
海外売上高	51,481	50,987	△ 1.0	← 為替影響除く: △16%
売上総利益 (売上総利益率)	79,188 53.5%	73,496 50.8%	△ 7.2	← 自社品 売上比率: 2021/12 72.1% → 2022/12 71.7%
営業利益 (営業利益率)	23,316 15.7%	11,377 7.9%	△ 51.2	← 販管費: 558億円 → 621億円 販管費率: 37.8% → 42.9%
経常利益	24,677	13,937	△ 43.5	← 為替差益: 979百万円 → 2,058百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	16,911	8,860	△ 47.6	

平均レート	(2021/12)	(2022/12)
1米ドル	110.2円	134.0円
1ユーロ	130.9円	140.6円

## 2) 決算のポイント

### 売上高：前年同期比 2.4%減

- 国内：検査・手術件数の回復や設備投資の再開により、生体計測機器や検体検査装置は好調に推移。前年同期に感染症対応のため整備が進んだ生体情報モニタや人工呼吸器の売上が減少。
- 海外：前年同期に感染再拡大地域で需要増加した生体情報モニタの反動や上海ロックダウンの影響もあり減収。3Q会計では、米国の中位機種ベッドサイドモニタの新製品効果や円安効果もあり、全ての地域で二桁成長。

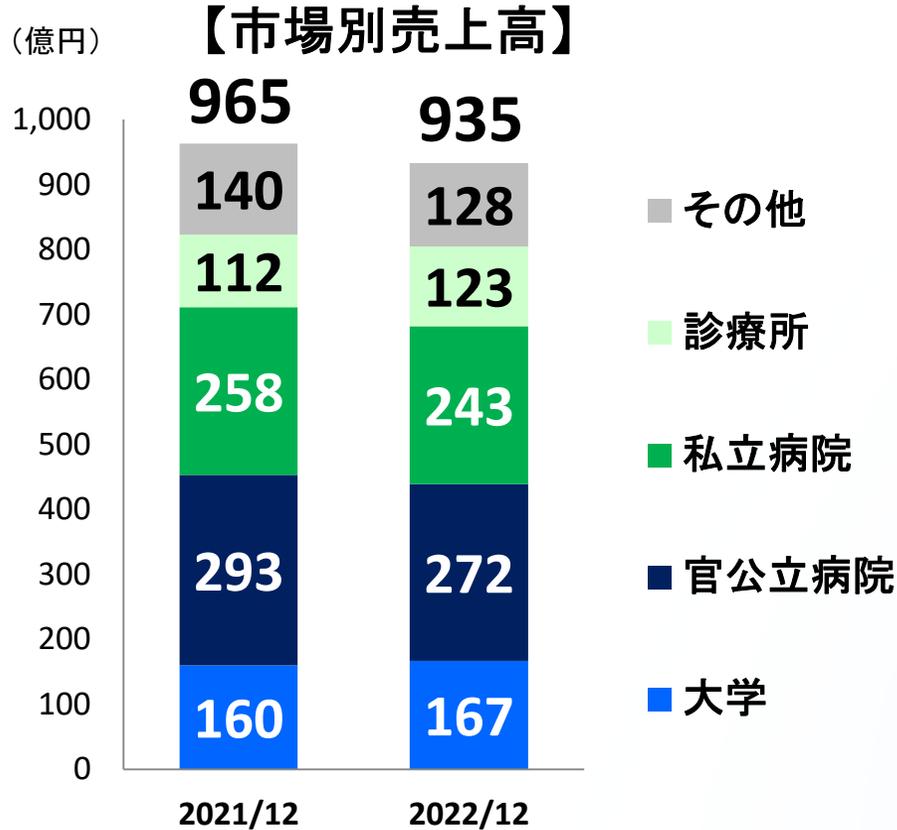
### 営業利益：前年同期比 51.2%減

- 減収に加え、部材価格等の上昇や売上構成の変化による原価率の上昇、人員の増強および営業・サービス活動の正常化に伴う販管費の増加により、減益。

### 経常利益：前年同期比 43.5%減

- 為替差益は増加。

# 3) 国内売上高



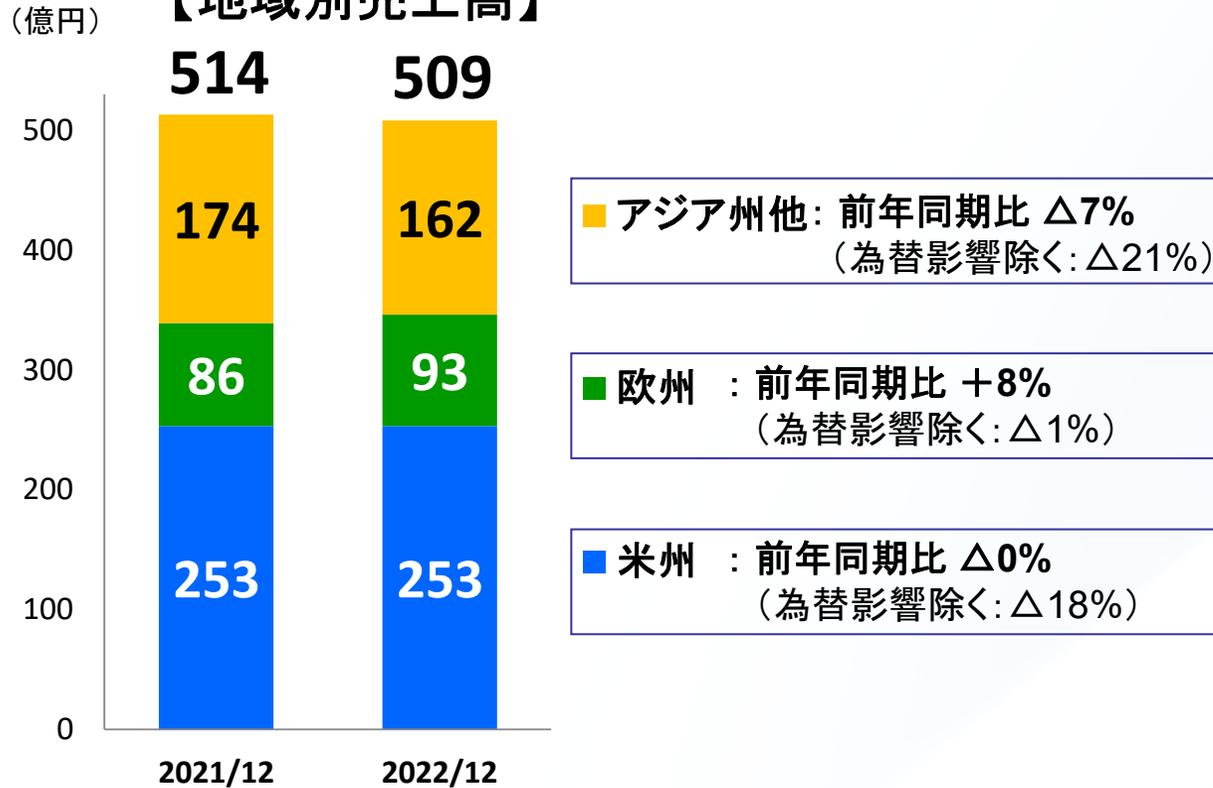
【商品群別売上高】 (単位:百万円)

	2022/3 第3四半期 累計	2023/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	20,562	23,375	13.7
生体情報モニタ	34,884	30,711	△ 12.0
治療機器	20,904	18,494	△ 11.5
その他	20,246	20,988	3.7
<b>売上高合計</b>	<b>96,597</b>	<b>93,569</b>	<b>△ 3.1</b>

- 【市場別】 官公立病院、私立病院市場は、生体情報モニタや人工呼吸器の整備もあり好調だった前年同期を下回る。設備投資の再開や検査・手術件数の回復により、診療所市場は好調、大学市場も堅調に推移。
- 【商品群別】 生体計測機器： 脳神経系群、心臓カテーテル検査装置群が二桁成長。診断情報システムも好調、心電計群は堅調に推移。  
 生体情報モニタ： 前年同期に好調だった送信機、ベッドサイドモニタが減収。臨床情報システム、センサ類など消耗品は堅調に推移。  
 治療機器： 人工呼吸器、AEDが好調だった前年同期を下回る。除細動器は好調に推移。  
 その他： 検体検査装置や医療機器の設置工事・保守サービスが好調に推移。

# 4) 海外売上高

【地域別売上高】



【海外売上高比率】

2022/3 第3四半期累計	2023/3 第3四半期累計
34.8%	35.3%

【商品群別売上高】

(単位:百万円)

	2022/3 第3四半期 累計	2023/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	6,895	7,007	1.6
生体情報モニタ	27,540	25,259	△ 8.3
治療機器	12,245	13,392	9.4
その他	4,800	5,328	11.0
<b>売上高合計</b>	<b>51,481</b>	<b>50,987</b>	<b>△ 1.0</b>

為替影響除く: △16%

- 【地域別】 米州: 米国は現地通貨ベースで減収も、円ベースでは増収。中南米がメキシコ、チリを中心に減収。  
 欧州: ドイツ、イギリスは好調に推移したものの、フランス、トルコが低調に推移。  
 アジア州他: 前年同期に好調だった中国、ベトナム、エジプトでの反動により減収。
- 【商品群別】 生体計測機器: 脳神経系群がアジア州他、中南米で大幅増収。心電計群は中国を中心に低調に推移。  
 生体情報モニタ: 米州、アジア州他が大口商談やCOVID-19関連需要の反動により減収。欧州は前年同期を上回る。  
 治療機器: AEDが全ての地域で好調に推移。人工呼吸器、除細動器は前年同期を下回る。  
 その他: 血球計数器・試薬が中南米、欧州で好調に推移。

# 5) 商品群別売上高

(単位:百万円)

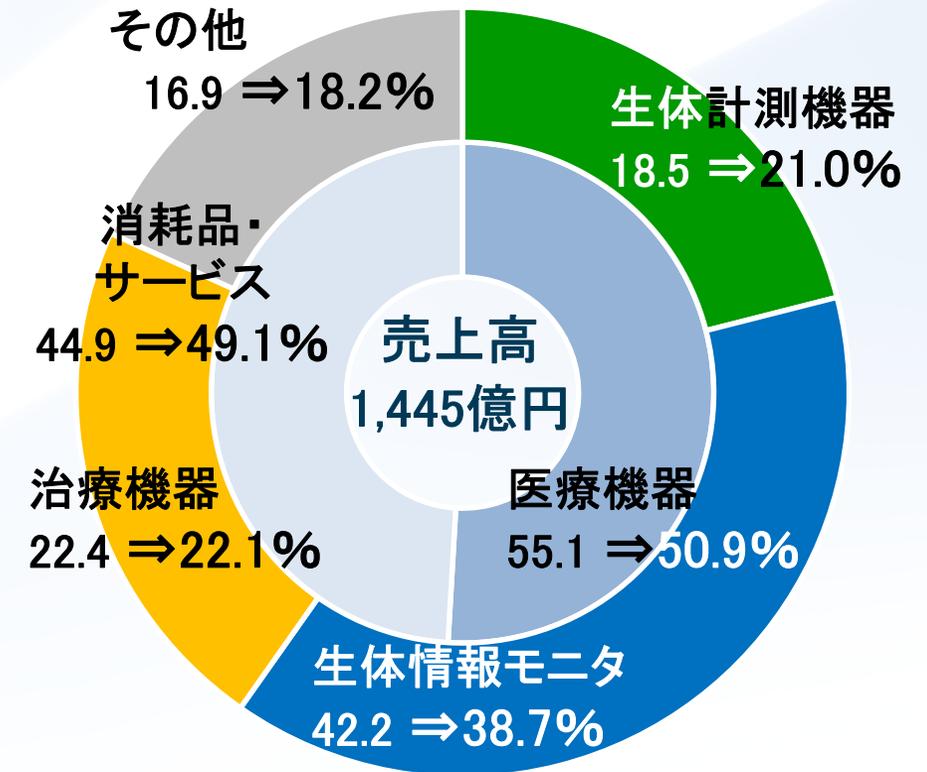
	2022/3 第3四半期 累計	2023/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	27,457	30,382	10.7
生体情報モニタ	62,425	55,970	△ 10.3
治療機器	33,149	31,887	△ 3.8
その他	25,046	26,316	5.1
売上高合計	148,078	144,557	△ 2.4

(ご参考)

消耗品・サービス	66,431	70,938	6.8
----------	--------	--------	-----

## 商品群別売上構成比

(2021/12 ⇒ 2022/12)



# [参考] 商品群別売上高の内訳

(単位:億円、単位未満切捨て)

生 体 計 測 機 器	2022/3 第3四半期 累計	2023/3 第3四半期 累計
脳 神 経 系 群	51	64
心 電 計 心 群	48	47
心臓カテーテル検査装置群	99	117
その他(診断情報システム等)※	74	73

※診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。

治 療 機 器	2022/3 第3四半期 累計	2023/3 第3四半期 累計
医 科 向 け 除 細 動 器	63	59
A E D	128	142
ペ ー ス メ ー カ ・ I C D	19	17
人 工 呼 吸 器	69	40
そ の 他	50	57

そ の 他	2022/3 第3四半期 累計	2023/3 第3四半期 累計
検 体 検 査 装 置	78	86
画 像 診 断 装 置 他 ※	172	176

※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。

# 6) トピックス

## 鶴ヶ島新工場用地を取得予定※

### 消耗品の生産拡大、 コストダウンの取り組み

#### AED用使い捨てパッド

富岡第二工場

2017年度 増産、自動化



#### SpO<sub>2</sub>プローブ

富岡第二工場

2018年度 自動化生産に着手  
2022年度 自動化生産ラインの  
増設準備



#### 筋弛緩モニタリング 専用筋電図電極

川本生産センタ

2022年度 生産ラインの増設、  
自動化生産に着手



筋弛緩 EMG電極  
NM-34シリーズ

### 消耗品生産のマザー工場を建設

#### センサ類などの消耗品の製造・ 自動化生産技術の研究開発



イメージ画像

### グローバルでの需要拡大に対応 2030年までに生産規模2倍以上(2021年度比)

- 総投資額 90～110億円程度  
工場用地取得費用 約23億円(予定)を含む
- 取得時期 2023年3月(予定)、稼働開始 2026年(予定)
- 所在地 埼玉県鶴ヶ島市  
圏央鶴ヶ島インターチェンジ東側地区産業用地
- 土地面積 約 34,463m<sup>2</sup>

※ 埼玉県議会の議決など必要な手続きを経て用地取得予定。

# 7) 減価償却費と研究開発費

(単位:百万円)

	2022/3 第3四半期 累計	2023/3 第3四半期 累計	増減額	2022/3 前期実績	2023/3 予想	
					期初	11月9日 修正
減価償却費	2,467	2,661	193	3,422	3,700	3,900
研究開発費	4,040	4,395	355	5,711	6,300	6,400
		設備投資額		3,022	5,600	5,600

## ●2023/3 設備投資計画

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備

↑  
鶴ヶ島新工場用地取得費用  
(約23億円、2023年3月予定)  
は含まず。

インド 試薬新工場の建設	総投資額:約11億円	<	2023/3:10億円 2024/3:1億円	着工:2022年9月 完成:2023年春 稼働開始:2024年春予定
PLM/MES※システムの導入	設備投資額:約25億円	<	2023/3:4億円 2024/3~2025/3:21億円	PLM:2024/3下期稼働予定 MES:2025/3稼働予定

※PLM(Product Life-cycle Management):製品ライフサイクル管理、MES(Manufacturing Execution System):製造実行システム。

# 8) 通期業績見通し

(単位:百万円)

	2022/3 前期実績	2023/3予想			増減率 (%)
		期初	11月9日修正	2月2日修正	
売上高	205,129	195,000	208,000	208,000	1.4
国内売上高	136,321	130,500	135,000	135,000	△ 1.0
海外売上高	68,807	64,500	73,000	73,000	6.1
売上総利益 (売上総利益率)	109,085 53.2%	98,200 50.4%	105,200 50.6%	105,200 50.6%	△ 3.6
営業利益 (営業利益率)	30,992 15.1%	16,500 8.5%	19,000 9.1%	19,000 9.1%	△ 38.7
経常利益	34,563	16,500	23,500	20,500	△ 40.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	23,435	11,000	16,000	13,500	△ 42.4
海外売上高比率	33.5%	33.1%	35.1%	35.1%	
平均レート					
1米ドル	111.3円	117円	135円	134円	
1ユーロ	130.6円	130円	139円	141円	

← 為替影響除く: △10%

## 【地域別海外売上高】

	2022/3 前期実績	2023/3予想		増減率 (%)
		期初	11月9日修正	
米州	33,436	34,400	37,500	12.2
欧州	11,449	10,100	11,800	3.1
アジア州他	23,921	20,000	23,700	△ 0.9
海外計	68,807	64,500	73,000	6.1

※第4四半期の前提為替レートは130円/米ドル、140円/ユーロです。

# [参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響

(単位:百万円)

	2022/3 前期実績	2023/3予想			増減率(%)
		期初	11月9日修正	構成比(%)	
生体計測機器	39,681	41,100	44,800	21.5	12.9
生体情報モニタ	84,860	75,900	80,100	38.5	△ 5.6
治療機器	43,388	41,000	42,800	20.6	△ 1.4
その他	37,198	37,000	40,300	19.4	8.3
売上高合計	205,129	195,000	208,000	100.0	1.4

(ご参考)

消耗品・サービス	90,576	94,800	101,300	48.7	11.8
----------	--------	--------	---------	------	------

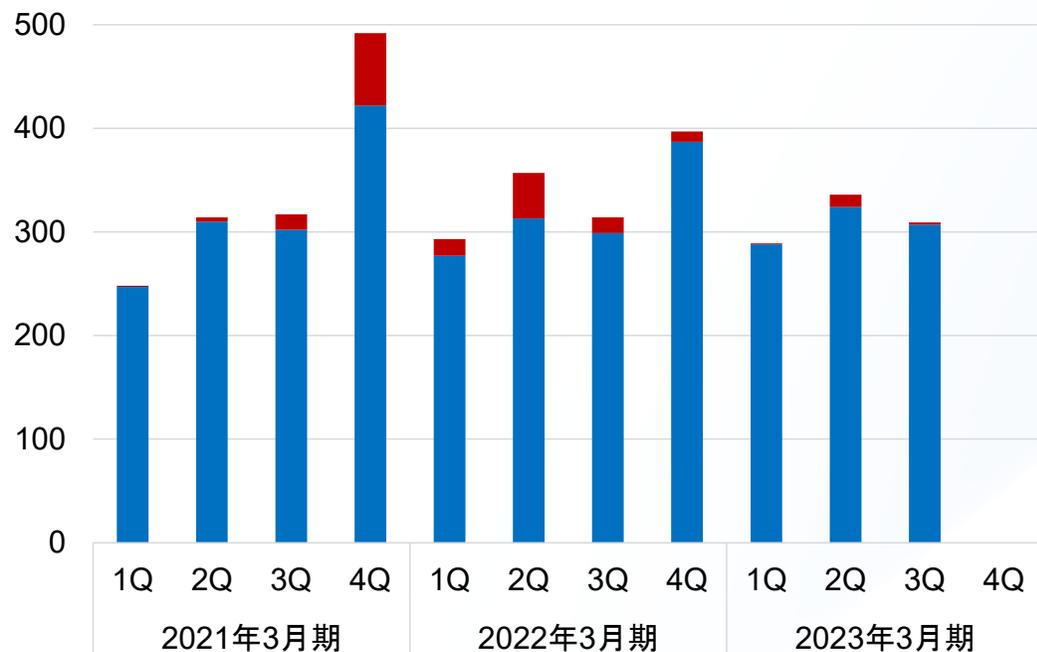
## 為替感応度の概算値(年間)

	売上高	営業利益
米ドル	3.6億円	0.8億円
ユーロ	0.6億円	0.2億円

# [参考] COVID-19関連需要(概算)

【国内売上高】

(億円)



【海外売上高】

(億円)



■ COVID-19関連  
■ COVID-19関連以外

2023/3 第3四半期累計 COVID-19関連需要	国内		海外	
		対前年同期増減		対前年同期増減
生体情報モータ	11億円程度	△41億円程度	2億円程度	△29億円程度
人工呼吸器	4億円程度	△19億円程度	1億円程度	△10億円程度
除細動器	—	—	1億円程度	△4億円程度
合計	15億円程度	△60億円程度	4億円程度	△43億円程度

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告を目的としているものではありません。

**【担当部署】 経営戦略統括部**

**【連絡先】 TEL03-5996-8003**